2014年トレンド予測

飲食領域

まだ、ここにない、出会い。
RECRUIT

『HOT PEPPERグルメ、HOT PEPPER』のご紹介

まだ、ここにない、出会い。 RECRUIT

日本最大級のグルメ・クーポン情報サイト、情報誌

PCサイト

HOT PEPPERグルメ

総掲載店舗数：70万店
詳細情報掲載店舗数：7.2万店
※2013年10月現在

モバイルサイト

HOT PEPPERグルメ
ケータイ　スマートフォンアプリ

グルメアプリ
DL数ナンバーワン！！

フリーペーパー

HOT PEPPER

全国50版＋１タブロイド誌
※首都圏４版は美容情報のみ掲載
月刊発行部数：380万部以上

飲食領域における2014年予測

キーワード

メニューや設備が進化した居酒屋に、
「家庭の団らん」を求める団塊Jr.世代。

いざか族

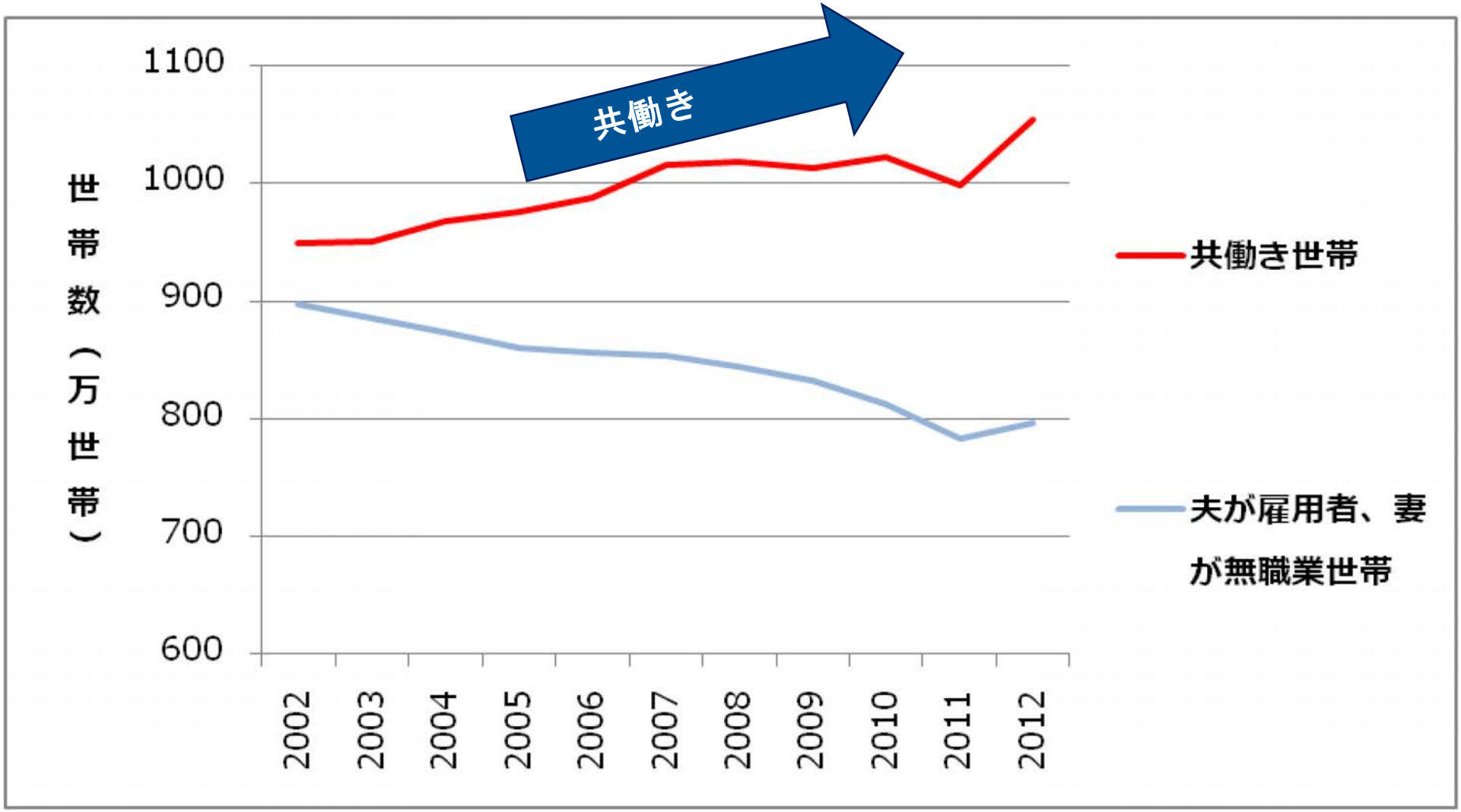
休日早い時間での居酒屋の家族利用が増加している。
けん引しているのは90年代居酒屋ブームで育った**団塊Jr.世代**。

①共働き、子供の塾・部活などによる**「家庭内孤食化」**
②個室の整備やメニューの充実など**「居酒屋側の進化」**
を背景に

居酒屋での家族揃っての夕食に、**新しい団らんの形**を見出そうとしている。

■団塊Jr.の子育て世代化と共働きの増加が社会背景

消費に影響の大きい**団塊Jr.世代（1971~1974年生まれ）が子育て世代化（現在39~42歳）**したことと**共働きの急増**が2大背景。

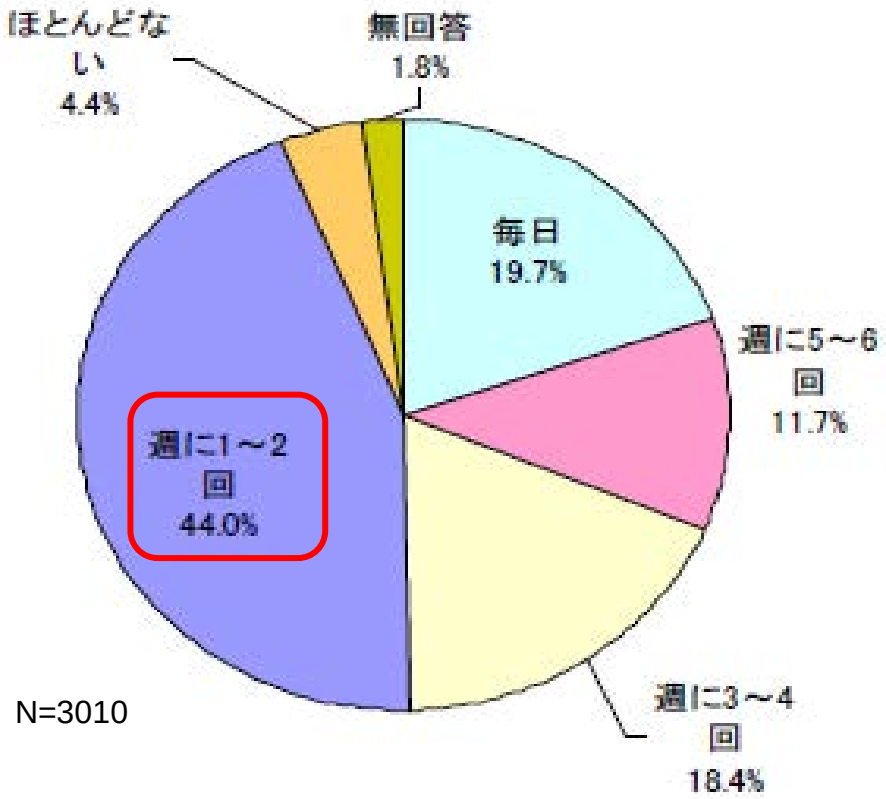


出展:総務省　労働力調査「共働き等世帯数の推移」

■家庭内孤食＝家族揃っての夕食を増やしたい！

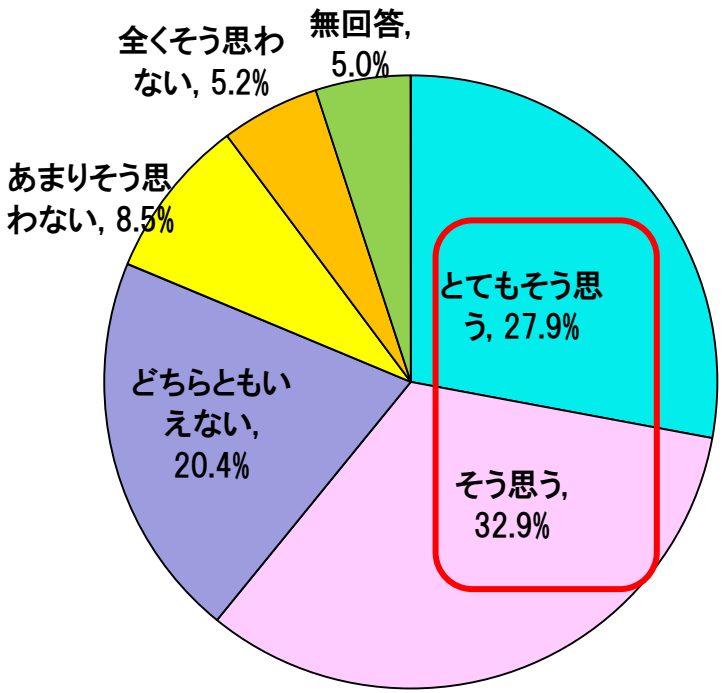
共働き、子供の塾・部活、など**時間が合わせづらく**なり、
家でもスマホ、パソコンの普及などもあり、
一堂に会して「せーの」で夕食を共にしない**「家庭内孤食」が進行**。

■夕食時に家族全員がそろう回数
「週に１～２回」が最多



出典：カゴメ株式会社「子どもの食生活に関する調査報告書2010」

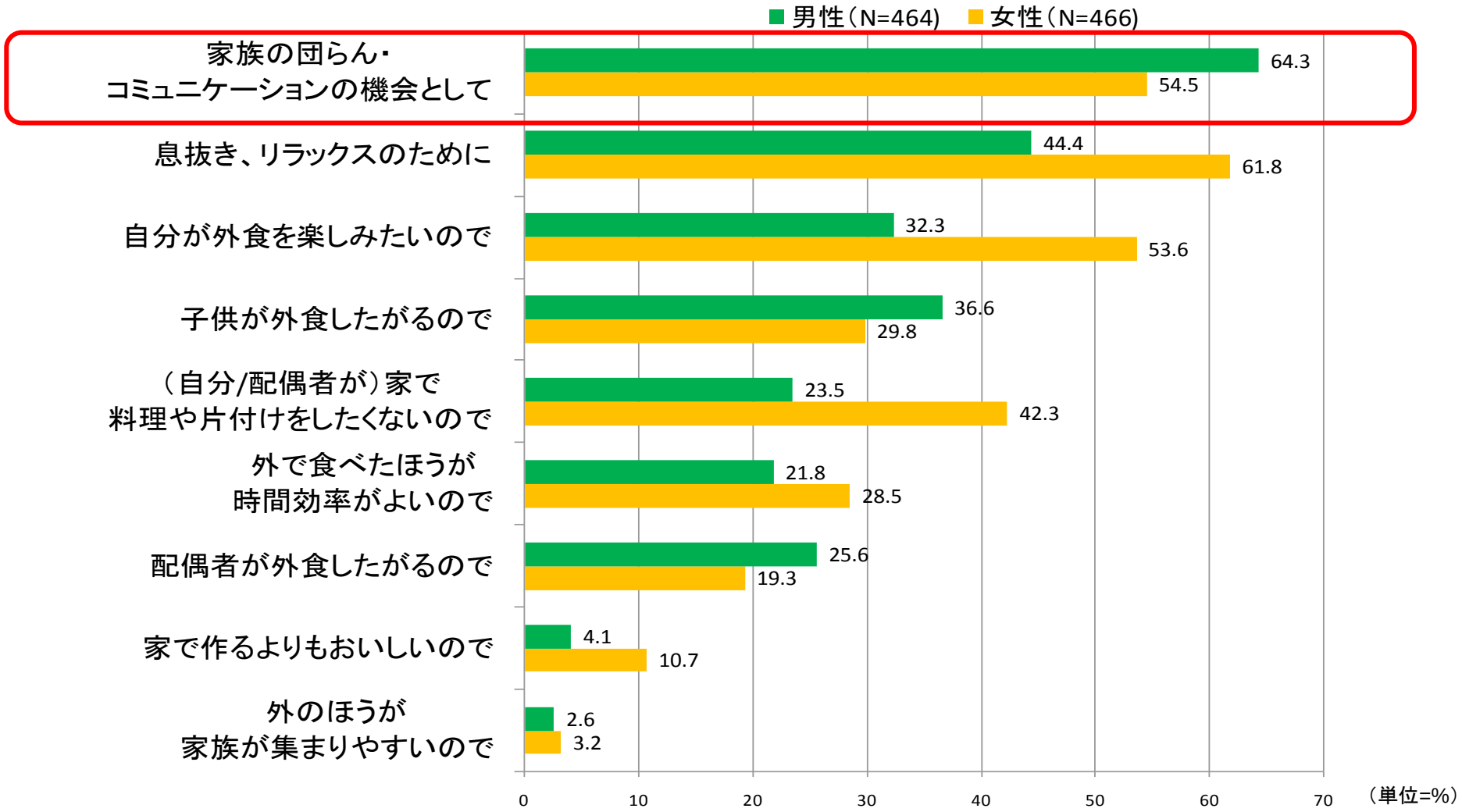
■家族と一緒に食事をする回数
「増やしたい」人が約６割



出典：内閣府「食育に関する意識調査」（平成23年12月）

■外食が家族の団らんニーズを満たす手段として重要に

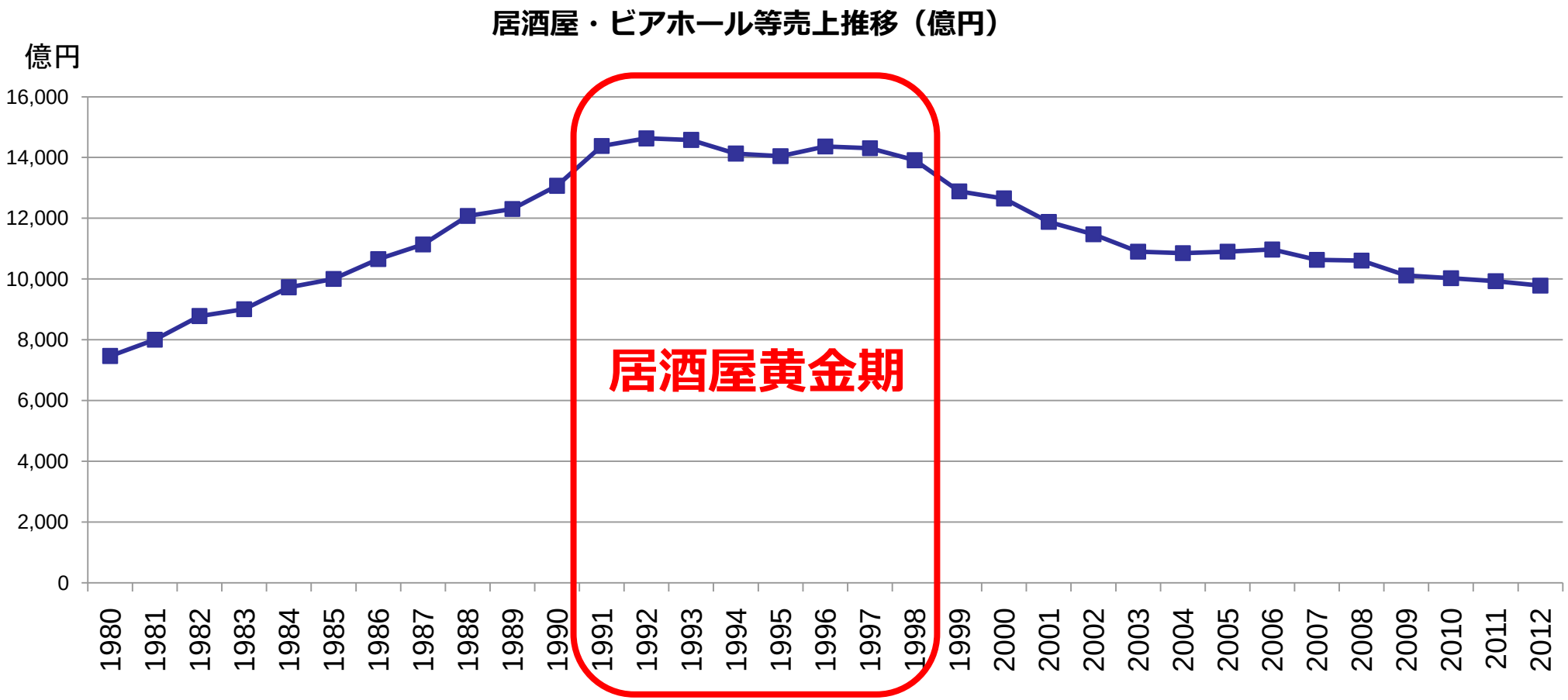
子連れで外食する理由を複数回答で聴取（20-40代計）。
男女ともに**外食理由として「家族の団らん・コミュニケーション」**が高い。



出典：2013年弊社独自調査

■団塊Jr.は居酒屋慣れ「ゴールデンAGE」

居酒屋の売上ピークは1992年。
団塊Jr.は今につながる居酒屋チェーン黄金期の90年代に青春時代
（最多の1973年生まれは1993年に20歳）を過ごした**居酒屋慣れ世代**。



出典：公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業規模推計値」

■居酒屋側の家族向け環境が整い「いざか族」顕在化

年	出来事	居酒屋の進化
2003	健康増進法施行	**分煙**の開始
2008	リーマンショック	業態の多様化（**全個室**化など）
2009	女子会ブーム	**ノンアルコールドリンク、デザートメニューの充実**
2010	ママ会ブーム	**子連れ**のお母さんをターゲットに
2013	いざか族の登場	**家族連れ向け打ち手**が続々

分煙、個室、ノンアルコール・デザートメニュー充実など、
家族団らんに使える居酒屋の利便性に消費者が気付く・・・

2013年：いざか族の顕在化
子連れの外食で居酒屋を利用する：**15.6%**
（2013年弊社独自調査）

□九州居酒屋　無法松（大阪府高槻市）

■「いざか族」はこんな家族

利用は、
土日の早い時間帯。
子供に**夜更かしはさせません**。

ソフトドリンク飲み放題
が嬉しい口

分煙は当たり前！

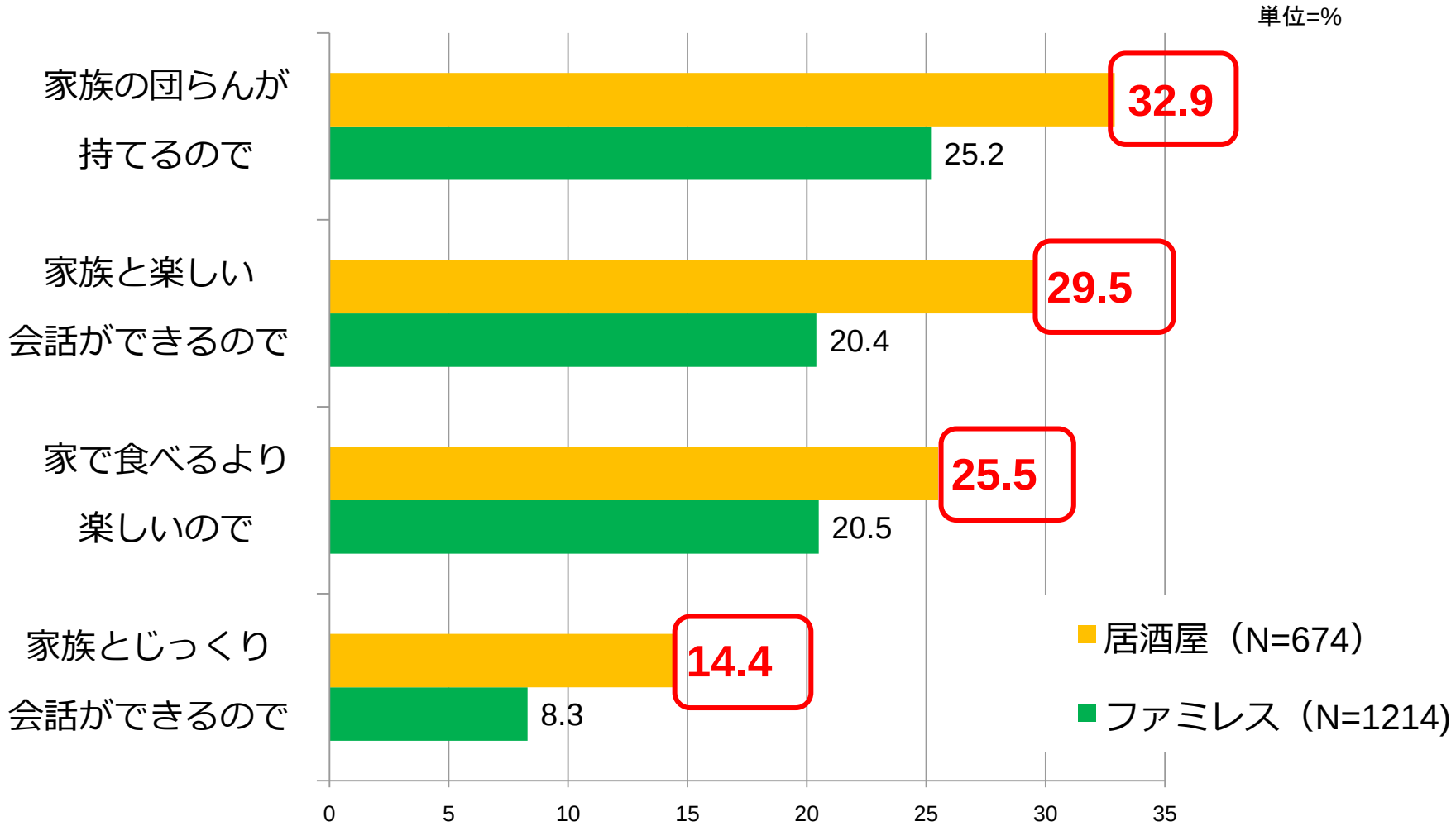
普段の夕食として
居酒屋を利用しますが、
時には誕生日など、**特別な機会でも**使います。

平日は仕事でクタクタ。
休日くらい**家事から離れてリラックス～。**

あれこれ頼んでみんなでシェア

■実際に居酒屋は家族の「団らん」ニーズを満たしている

家族で居酒屋を利用する目的は**「団らん」と「会話」**。
スコアは**ファミレスよりも高い**。



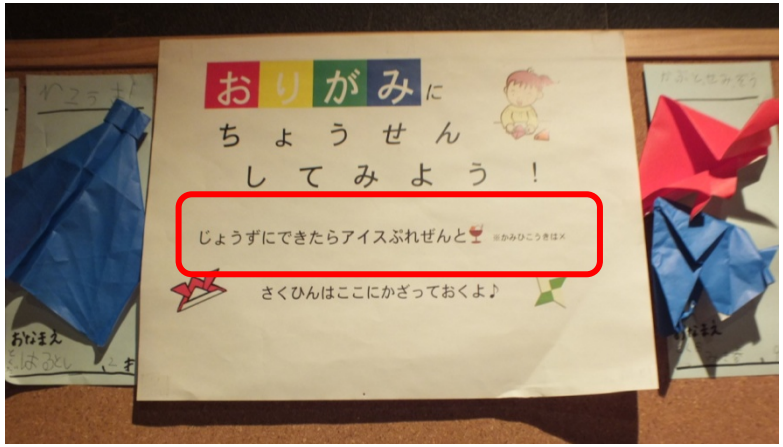
出典：2013年弊社独自調査

■居酒屋の進化実例１（団らんを意識した店づくり）

わん　葛西店（東京都江戸川区）

2012年よりキッズルームを設置。「親が飲み放題注文で、子供も飲み放題」「誕生日ケーキ持ち込みOK」など、**家族団らんを意識した打ち手**を実施。

▲親の席の横にキッズルームがあるから、安心して食事を楽しめる



▲絵本やおもちゃの用意、折り紙でアイスクリームをプレゼントなど、子供を飽きさせない工夫が多数

◀お店の入口でも、立て看板でキッズルームをアピール

■居酒屋の進化実例２（家族向けイベントの実施）

居酒屋てんてん（大阪市北区）

2012年から**親子体験イベントを多数用意するなど対応を強化**。
「お子様とお父様でハンバーグ作り！お母さんにサプライズ！」など。

▲キッズスペースも準備

▼店内のボードにずらり
張られた親子イベントの告知

■居酒屋の進化実例3（家族団らんのためのメニュー）

近鉄八尾　食彩畑　稲ちゃん（大阪府八尾市）

2012年開店から家族連れを意識。**お子様メニュー、デザートなどが充実**。

▲全席個室で家族お子様大歓迎。
お子様向けメニューも当たり前に用意

▲宴会コースでは家族うけのよいしゃぶしゃぶなどをプラン化

▲子供が喜びそうなデザートを多数用意

■インタビュー

家族連れは**主に週末**で、土曜・日曜はコンスタントに**15組**は来ます。
土曜は**複数家族での宴会**、日曜は一家族だけでのご来店が多いですね。**おじいちゃん、おばあちゃんと一緒**に来られることもありますよ。**毎月400～500名のキッズが来店**されるので、**DVDプレーヤー**の設置など、さらなる打ち手を検討中です！

◀わん　葛西店　中屋店長

月に1回は家族で来ます。子供連れに、あまり**抵抗はない**ですね。**早い時間**であれば、酔っ払いに出くわすこともないですし（笑）。ファミレスがガヤガヤしていて落ち着かないけど、居酒屋は**個室でゆったりくつろいで、家族で食事を楽しめる**ところが魅力です。「わん」のように、子供が遊べる環境だと助かります！（41歳・父親）

▲週末の早い時間に居酒屋で夕食を楽しむ家族の光景

キーワード

メニューや設備が進化した居酒屋に、
「家庭の団らん」を求める団塊Jr.世代。

いざか族

休日早い時間での居酒屋の家族利用が増加している。
けん引しているのは90年代居酒屋ブームで育った**団塊Jr.世代**。

①共働き、子供の塾・部活などによる**「家庭内孤食化」**
②個室の整備やメニューの充実など**「居酒屋側の進化」**
を背景に

居酒屋での家族揃っての夕食に、**新しい団らんの形**を見出そうとしている。